

旭田っ子だより

令和6年1月12日（金）

旭田小 学校だより No.9

文責：校長 天野 圭

【今年もどうぞよろしくお願いいたします。】

2024年令和6年の幕開けです。今年もどうぞよろしくお願いいたします。新春の幕開けと共に、能登半島地震や飛行機事故等、日本中を震撼させるニュースがありました。地震の被害状況について、担任や子供たちからの情報では、保護者の方々や家屋等に異常はなかったと聞いております。何よりです。今後1週間程度は、予断の許されない状況だと思えます。この時期に、非常持出袋や備蓄品の準備や確認、さらに家庭内での役割分担等、防災意識を高めながら再確認することが大切かと思えます。さらに子供たちが学校の管理下内で活動している場合、メールや電話等により緊急連絡させていただくこともあります。併せて家庭内における連絡先優先順位の確認等、よろしくお願いいたします。現在も能登地方では、復旧作業や避難所での生活を余儀なくされている方々がいらっしゃいます。1日も早い復旧を願います。

【学校・家庭とが連携して情報モラル教育の充実を】

主に高学年では、宿題や諸連絡等で活用するために、週末にはタブレット端末を持ち帰っています。子供たちは学習能力が高いですので、すでに一つのツールとして使用しているようです。持ち帰る主なねらいは、たくさんの情報の中から自分に必要な情報源にアクセスし、家庭学習のための情報収集を行うことや苦手としている学習課題を復習したり、先を見通して予習したりしながらICTに慣れ親しむことに重点を置いています。またタブレット端末を活用することにより、主体的な学習態度が身に付くようになればと期待しています。しかし、用途を間違えると大きな犯罪に発展することもあります。週末タブレット端末を持ち帰った際、家庭でも学習の様子を確認して下さるようよろしくお願いいたします。また家庭内でのルールにつきましては、保護者が確認できる内容であることを考慮し、できたら称賛し、課題があればルール改正をお願いいたします。

【雪のない校庭での遊び方は？】

昨年度も積雪は少なかったですが、今年度はさらに少ない1月を迎えています。登校・通勤には最高ですが、福島県内では、雪不足のため営業ができないスキー場もあります。2月のスキー教室は大丈夫なのかと少し不安なところもあります。天気予報では今週末から来週にかけて大雪に注意と報道されていますので、程よく降ってもらえたらうれしいです。

ところで、休み時間等、子供たちの様子を見てみると雪が無く、校庭が乾いているのに校庭で遊ぶ子供がいません。「寒いからからな。」「休み時間も学級で何か活動しているのかな。」と思って校内巡視すると教室で安全に過ごしています。なぜ外に出ないのだろうと考えた結果、雪国ならではの特性があることがわかりました。それは長靴やブーツではないかと思えます。冬は暖かく安全な服装で登下校します。寒い時期や下校時雪が降ったとしても、丈の短いシューズより、暖かく安全な長靴やブーツが最適なのです。しかし、その服装でサッカーや鬼ごっこをすることは考えにくいのかもかもしれません。その証拠に、校庭に積雪がある場合は、雪合戦やそり乗り等、校庭で元気に遊ぶ姿が見られます。雪国ならではの特性ですね。そう考えれば、もう少し校庭に雪がほしいところです。

【認定こども園の底力】

先月、会津若松市内のある認定子ども園の園長先生より、3歳～5歳児の活動を参観する機会をいただきました。幼児の活動から何か指導や助言をお願いしたいとお話でしたので、小学校前の幼児教育に関心をもって私にとっては、ワクワクしながら参観させていただきました。当日の活動のねらいは、保育所保育指針や幼稚園教育要領等の「5領域」や「育てたい10の姿」に基づいて活動が実践されているかの研修会でした。さらに大きなねらいとして、3歳～5歳児が共に学ぶ異年齢集団での活動がテーマでした。

認定こども園とは、大まかですが保育園と幼稚園が一体となり、保育と教育を一体的に行う施設です。そのため管轄は、内閣府を中心とした文部科学省と厚生労働省との連携体制になります。

私が参観して感心した内容を記載いたします。

【遊びを中心とした活動から、幼児の主体性や自主性を重んじ、楽しく活動させている。】

⇒ 指導者が事前に幼児一人一人の予想される活動内容を記録し、見直しをもって指導・助言をしている。

【幼児の語彙力が高い。】

⇒ 難しい言葉でも、指導者が継続して言葉を発することにより、語彙力が身に付いてきている。最初は、ケガ等の対応のために身体の部位を覚えさせることを大切にしている。

【体操の時間には、カー杯運動できるように、音楽と多様な動きを取り入れ活動している。】

⇒ 運動の中に、柔軟性・敏捷性・巧ち性等の能力を高めることができる内容が多数取り入れられている。小学校の「低学年体づくりの運動遊び」への系統性を意識している。

【活動中、幼児が泣いたり違う行動をしたりした場合、素早く支援員が話を聞く等、複数で対応している。】

⇒ 幼児の人格を認め、承認しながら自分を振り返らせ、自己決定の場面を設定し、複数で対応している。

他にも、学ぶところはたくさんありましたが、今回参観させていただいたことにより、私たちも保育所や中学校との連携が大切であることを深く認識できました。ありがとうございました。

なお、この認定子ども園を希望する保護者は多数で、抽選会が大変だそうです。さすがです。

【校長のひとり言】

正月も趣味の料理に明け暮れていた私です。一つは「お寿司」です。ポイントは、寿司ネタをさくで購入し自宅で切り分け握ること。いかがでしょう。義理の両親に出前をしました。寿司おけは会津塗りです。もう一つは、生豚げん骨をじっくり煮込んだ「山塩ラーメン」です。ポイントは豚だけでなく、カツオ等ブシ系で仕上げることです。味にキレが生まれます。食べる時のブシの香りが最高。チャーシューは豚ロースを柔らかく煮込むこと。

さて、みなさん。料理をしていてこんな苦い経験はありませんか。

- ・ 食品用ラップフィルムが切れて取れなくなりイライラした経験
- ・ 塩蔵わかめを袋から取り出す際、ちぎって取ったことにより塩が目に入ってしまい目が痛い経験
- ・ あせって料理をした際、足の小指をドアにぶつけてしまい、どこにあたっていいかわからない経験

私は、よく経験します。

